

平成30年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT30090 プログラム名 ヒトの体を四次元的な目で見てみよう



開催日:	平成30年7月23日(月)
実施機関:	東京慈恵会医科大学
(実施場所)	(附属第三病院、高次元医用画像工学研究所)
実施代表者:	鈴木 直樹
(所属・職名)	(高次元医用画像工学研究所・教授)
受講生:	中学生 18名
関連URL:	

【実施内容】

・受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

施設見学では、実際の研究の場を自分の目で見るように心がけ、研究成果の画像を見せながら各研究施設を見学させ、理解しやすいように平易な説明を心がけた。また施設内を見て回るだけでなく、四次元画像を体感できるよう、ヒトの体内を仮想化内視鏡で立体視しながら巡ることができるプログラムも用意し、科学研究への興味がわくように努めた。

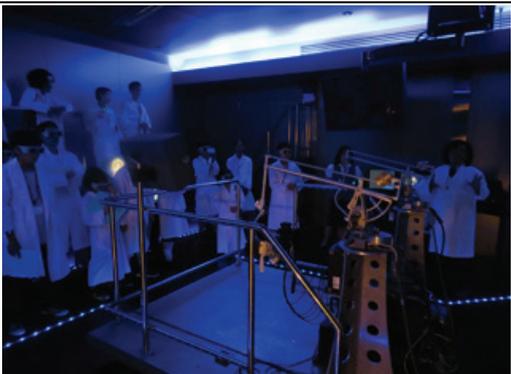
クッキータイムでは、日本学術振興会から派遣された本事業推進委員会委員の中村先生も交えて、ディスカッションを行なった。生徒たちが科学研究に対して思っていること、将来なりたい職業や夢などを話してもらい、実施代表者と推進委員会委員からの意見を交えながら進めることで、生徒たちが研究者との対話を活発にできるようにした。

講義では研究成果をスライドで見せながら行なったが、学会発表やシンポジウム等で用いるのと同じスライドを多用し、実際の研究活動の雰囲気が伝わるようにしながら説明は平易な言葉で理解しやすくなるように心がけた。修了式の後、解散となった後も質問に来る生徒が何人もいたが、それらにも丁寧に対応した。

・当日のスケジュール

13:00-14:00	開講式(挨拶、科研費の説明、オリエンテーション)
14:00-15:00	施設見学、VRによる「からだの中への旅」体験
15:00-15:30	クッキータイム・ディスカッション・休憩
15:30-16:15	講義「未来の医学への旅」 鈴木 直樹 教授
16:15-16:45	修了式(未来博士号授与式、アンケート記入)
16:45	解散

・実施の様子

<p>開講式</p>	<p>施設見学①</p>
	
<p>施設見学②</p>	<p>クッキータイム</p>
	
<p>講義</p>	<p>修了式</p>
	

・事務局との協力体制

実施代表者と事務局で打合せをし、学内調整や経費処理などは事務局が担当し、講義や実習の準備を実施代表者や分担者が担当するなどを確認し、その都度連絡を取りながら、協力して事前準備を行った。また当日の支援体制について、実施代表者、分担者、事務局とで、事前に打合せを行い、プログラムを円滑に実施できるように努めた。

・広報活動

本学大学内、各附属病院にポスターを掲示、本学のホームページにプログラム概要とポスターを掲載し広報を行った。

・安全配慮

参加者への事前案内に、当日の服装等についての注意事項を記載した。また、本学の附属第三病院救急部に事前に協力を依頼し、緊急時にも対応できるようにしておいた。当日は、飲み物等を用意し、受講生へ水

分補給をこまめにするようにアナウンスを行い、熱中症対策を行った。

・今後の発展性、課題

夏休みとはいえ、どうしても受講者が関東近辺だけになってしまうのが残念であった。映像で記録してネットで配信するなど、より多くの生徒に研究成果を発信できるようなしくみがあればと思われた。

【実施分担者】

服部 麻木 高次元医用画像工学研究所・准教授

【実施協力者】 ___ 0 名

【事務担当者】

塩原 憲治 教育センター・事務員